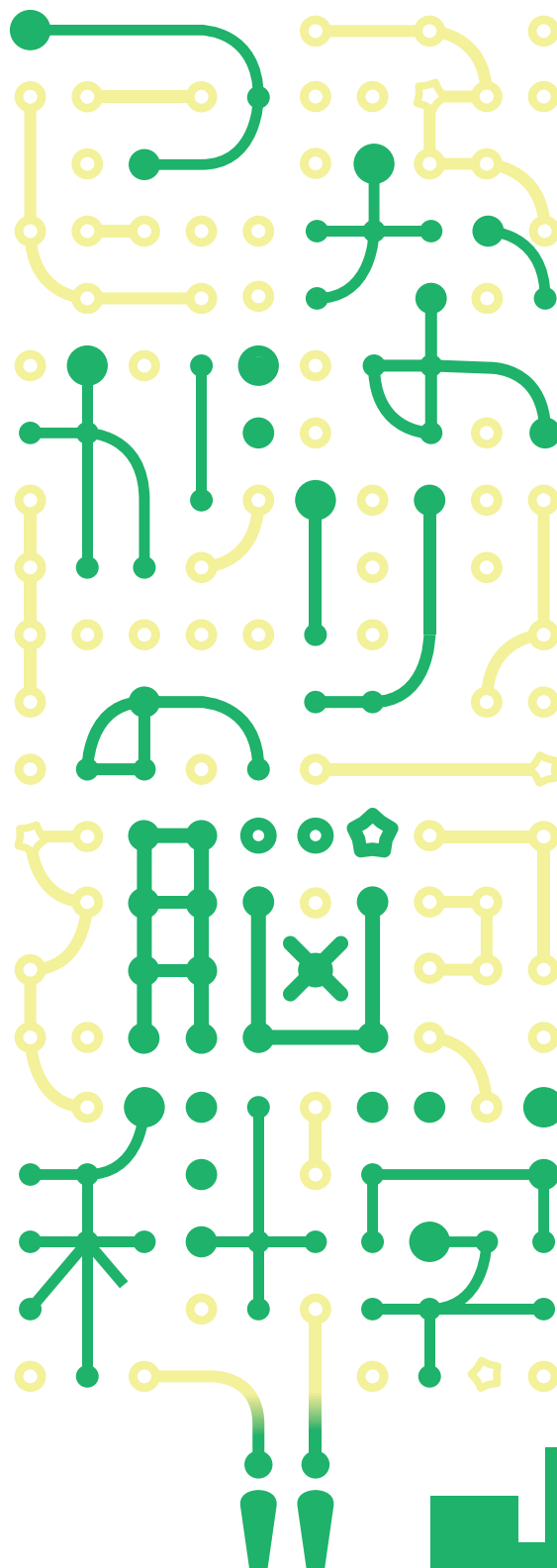




文部科学省 “社会に貢献する脳科学”の実現を目指して
脳科学研究戦略推進プログラム
Strategic Research Program for Brain Sciences
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology - Japan

第6回
脳プロ公開シンポジウム
つながりの脳科学

アンケート報告書



2014年2月1日(土) 学術総合センター

主催：文部科学省「脳科学研究戦略推進プログラム」

文部科学省 第6回 脳科学研究戦略推進プログラム 公開シンポジウム

『つながりの脳科学』

アンケート調査報告書

【調査目的】

『第6回 脳プロ 公開シンポジウム』に対する参加者の印象や評価を調査し、今後のシンポジウム・アウトリーチイベント開催の参考とするため。

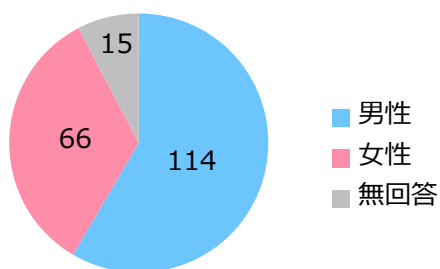
【アンケート対象者】

シンポジウム参加者365名にアンケートを配布。うち195名から回答を得た。（回収率53.4%）

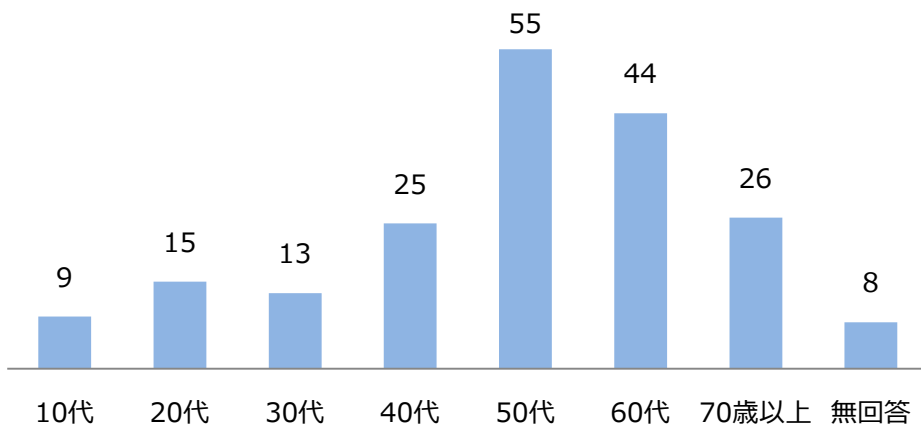
※当日会場で回収したものを対象としています。

（単位:人）

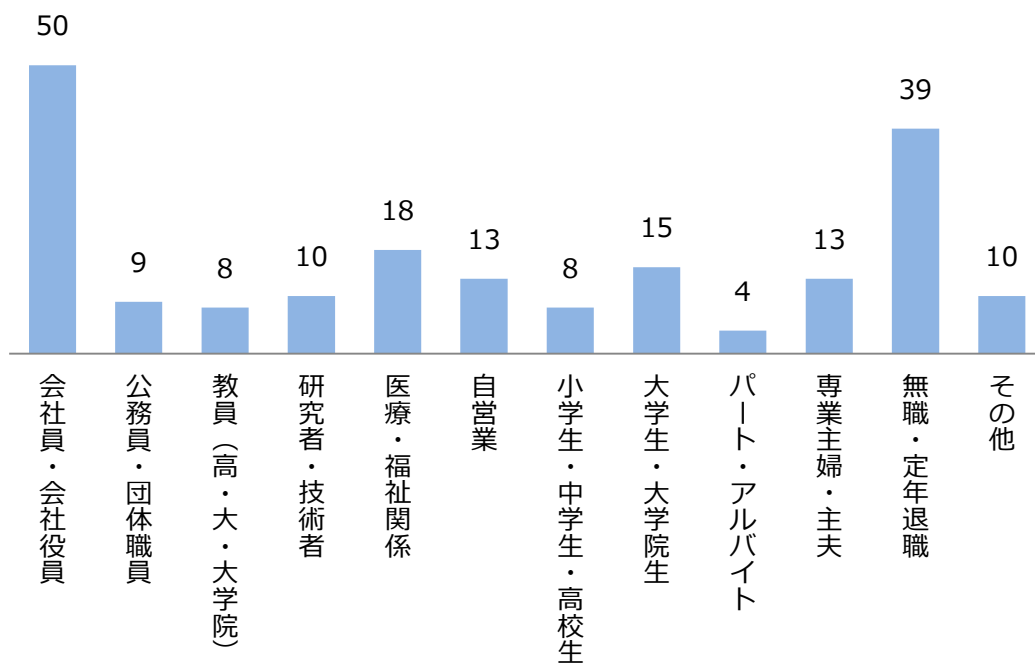
【性別】



【年齢】



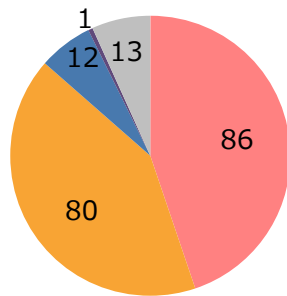
【職業】



【アンケート結果】

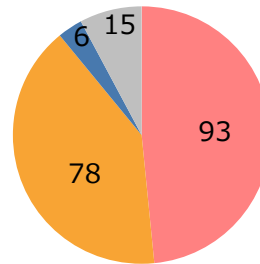
1. シンポジウムの内容について（シンポジウム参加者のみ回答）

a. 分かりやすかったですか？



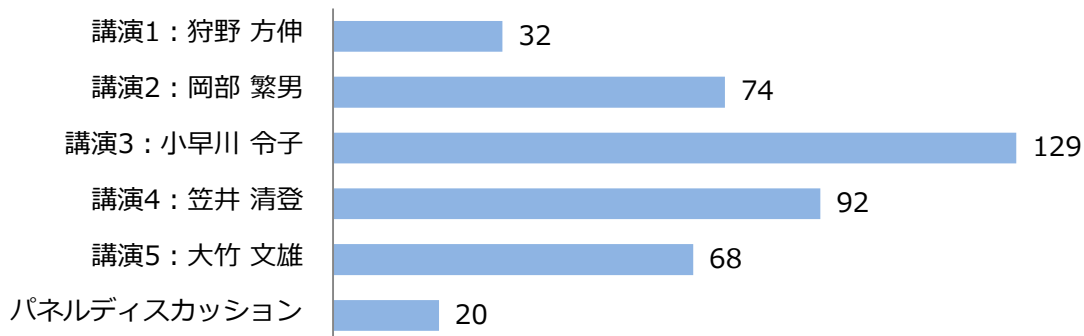
- 分かりやすい
- どちらかといえば分かりやすい
- どちらかといえば分かりにくい
- 分かりにくい
- 無回答

b. 面白かったですか？



- 面白い
- どちらかといえば面白い
- どちらかといえばつまらない
- つまらない
- 無回答

c. 特に印象に残ったプログラムはありましたか？（複数回答可）



「つながりの脳科学」 狩野 方伸

「神経ネットワークのイメージングで疾患のしくみを理解する」 岡部 繁男

「においの研究が解き明かすマウスの多様な情動—恐怖、母性、性行動」 小早川 令子

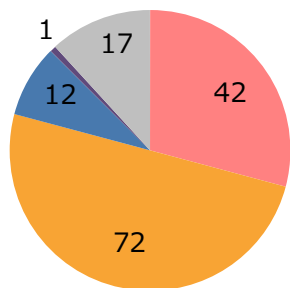
「精神疾患の診断と治療に役立つ社会脳研究」 笠井 清登

「“せっかちさ”の神経経済学」 大竹 文雄

パネルディスカッション

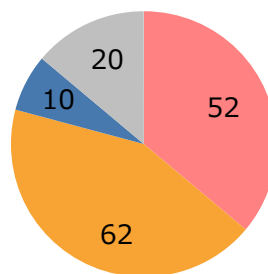
2. 展示の内容について（展示参加者のみ回答）

a. 分かりやすかったですか？



- 分かりやすい
- どちらかといえば分かりやすい
- どちらかといえば分かりにくい
- 分かりにくい
- 無回答

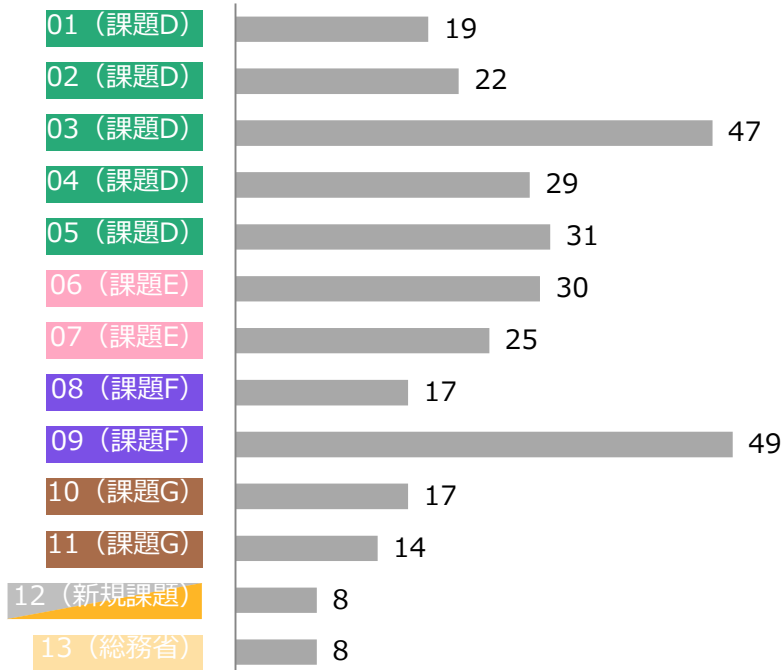
b. 面白かったですか？



- 面白い
- どちらかといえば面白い
- どちらかといえばつまらない
- つまらない
- 無回答

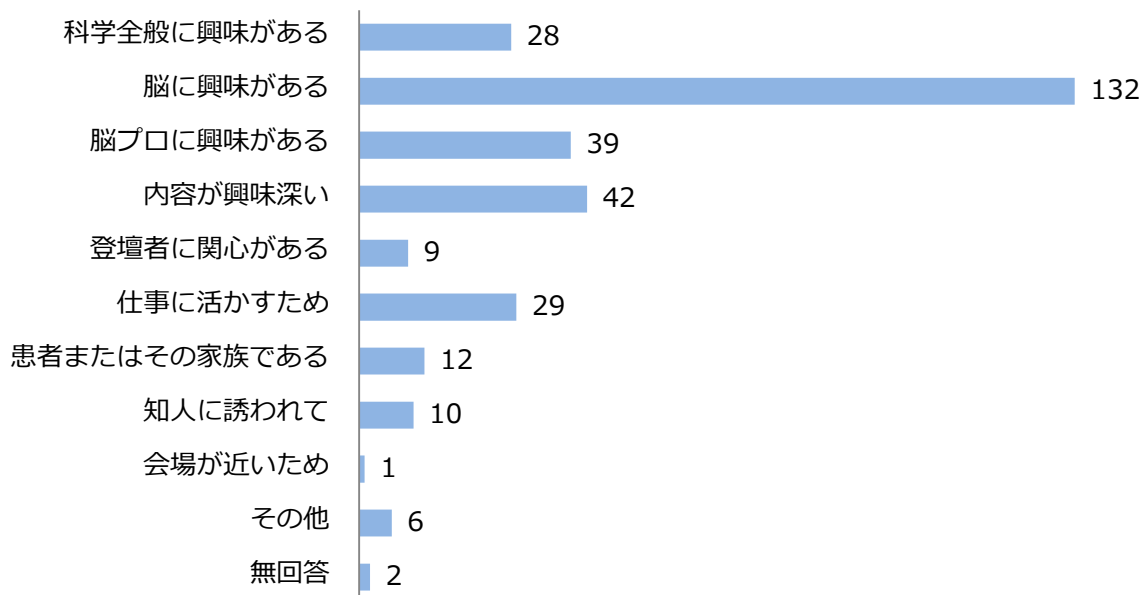
(次頁につづく)

c. 特に印象に残った展示はありますか？（複数回答可）

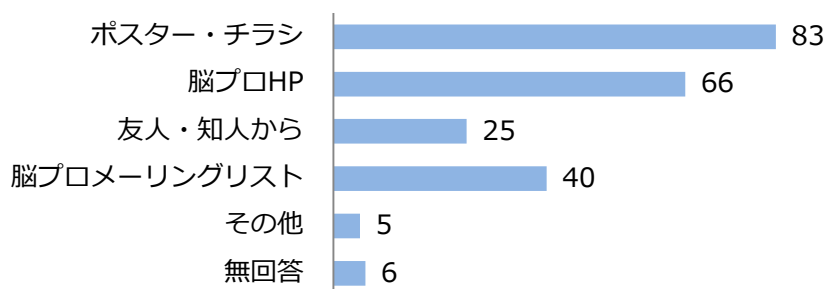


01 課題D	社会性と脳発達の間係を細胞・分子レベルで明らかにする 狩野 方伸 東京大学 大学院医学系研究科・医学部
02 課題D	養育環境が脳に及ぼす影響 高橋 琢哉 横浜市立大学 大学院医学研究科
03 課題D	匂いが引き起こす脳活動と行動・情動 小早川 令子 公益財団法人 大阪バイオサイエンス研究所 神経機能学部門
04 課題D	リアルタイムコミュニケーションにより同期する脳活動 定藤 規弘 自然科学研究機構 生理学研究所
05 課題D	対人コミュニケーションの障害に対する新たな治療薬の開発 山末 英典 東京大学 大学院医学系研究科・医学部
06 課題E	食と現代環境が及ぼす脳への影響 矢田 俊彦 自治医科大学 医学部
07 課題E	慢性不眠症の過覚醒状態を生じる脳内基盤 三島 和夫 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
08 課題F	発達障害に至る分子基盤の解明 松本 直通 横浜市立大学 大学院医学研究科
09 課題F	“自分は平均より優れている”と思う優越の錯覚の脳内メカニズム 須原 哲也 放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター
10 課題G	線虫 <i>C. elegans</i> の報酬依存的学習行動におけるモノアミン制御機構の解明 森 郁恵 名古屋大学 大学院理学研究科
11 課題G	マウスを使って情動行動を評価する 永井 拓 名古屋大学 大学院医学系研究科 / 貝淵 弘三 名古屋大学 大学院医学系研究科
12 新規課題	新規課題の御紹介～「BMI [®] 技術」と「霊長類モデル」～ <small>※BMI：ブレイン・マシン・インターフェース。Brain(脳)とMachine(機械)を相互につなぐ技術です。</small>
13 総務省	日常生活の支援を目指すネットワーク型ブレイン・マシン・インターフェース 株式会社 国際電気通信基礎技術研究所 川鍋 一晃

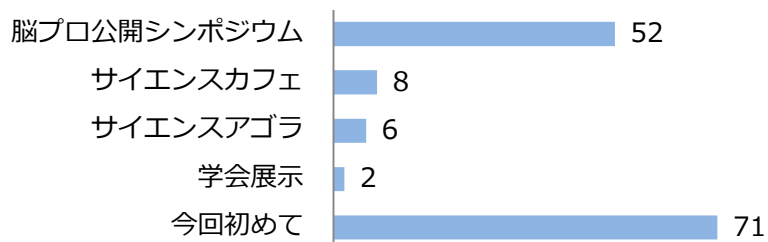
3. シンポジウムに参加された動機は？（複数回答可）



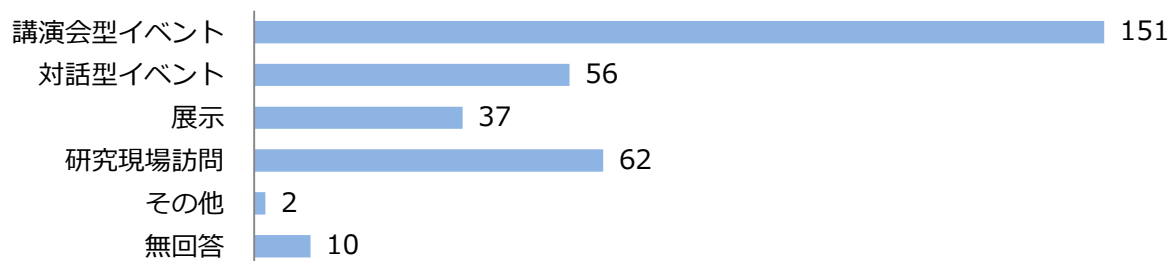
4. 本シンポジウムをどちらでお知りになりましたか？（複数回答可）



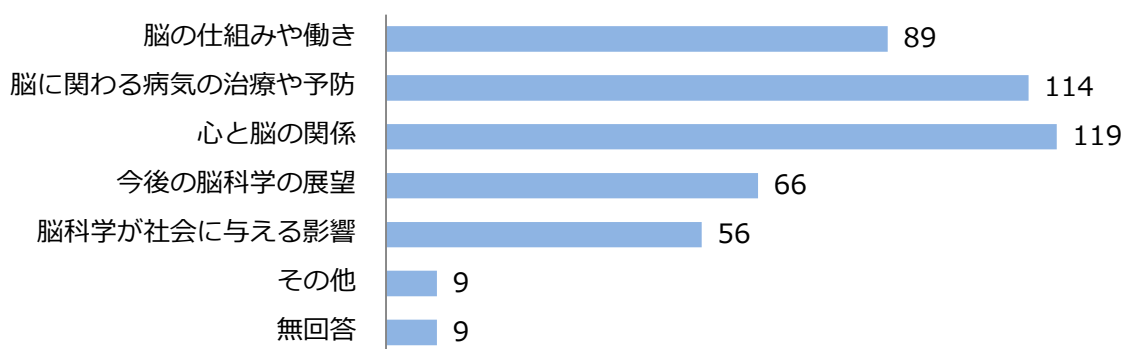
5. これまでに脳プロのイベントへ参加されたことはありますか？（複数回答可）



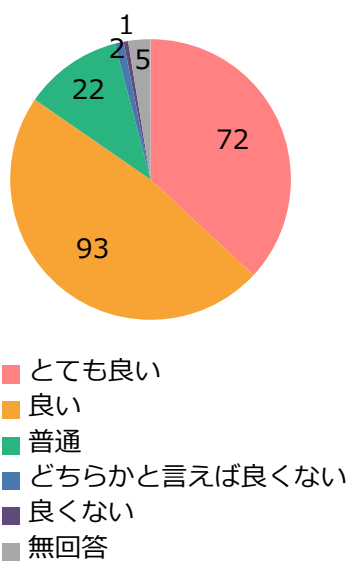
6. 今後、どのようなイベントに参加してみたいですか？（複数回答可）



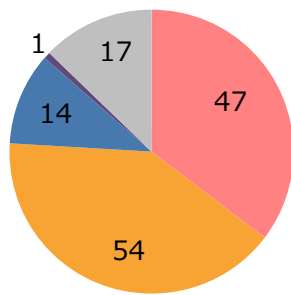
7. 今後、どのような内容の講演を聞いてみたいですか？（複数回答可）



8. 会場はいかがでしたか？（立地・広さ・設備・雰囲気）



9. 当日配布したプログラム（抄録）は分かりやすかったですか？



- 分かりやすい
- どちらかと言えば分かりやすい
- どちらかと言えば分かりにくい
- 分かりにくい
- 無回答

(以上)



『つながりの脳科学』

※第6回 脳プロ公開シンポジウムへの御参加ありがとうございました。皆様の御意見を今後の脳プロの活動の参考にさせていただくため、以下のアンケートに御協力をお願いします。御記入後は回収ボックスに入れていただくか、お近くのスタッフまでお渡しください。集計結果は脳プロHPにて公表させていただきます。なお、アンケート結果は本事業に関連する目的以外には使用いたしません。

【性別】	男性	女性	【年代】	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
【ご職業】	1. 会社員・会社役員（研究者・技術者・医療・福祉関係は除く） 2. 公務員・団体職員（教員・研究者・技術者・医療・福祉関係は除く） 3. 教員（幼・小・中・高・大・大学院・その他（ ）） 4. 研究者・技術者（専門（ ）） 5. 医療・福祉関係 6. 自営業 7. 小学生・中学生・高校生 8. 大学生・大学院生（専門（ ）） 9. パート・アルバイト 10. 専業主婦・主夫 11. 無職・定年退職 12. その他（ ）										

1. シンポジウムの内容について シンポジウム不参加

a. 分かりやすかったですか？

1. 分かりやすい 2. どちらかと言えば分かりやすい 3. どちらかと言えば分かりにくい 4. 分かりにくい

b. 面白かったですか？

1. 面白い 2. どちらかと言えば面白い 3. どちらかと言えばつまらない 4. つまらない

c. 特に印象に残ったプログラムはありましたか？（複数回答可）

- 「つながりの脳科学」狩野 方伸
- 「神経ネットワークのイメージングで疾患のしくみを理解する」岡部 繁男
- 「においの研究が解き明かすマウスの多様な情動—恐怖、母性、性行動」小早川 令子
- 「精神疾患の診断と治療に役立つ社会脳研究」笠井 清登
- 「“せっかちさ”の神経経済学」大竹 文雄
- パネルディスカッション

2. 展示の内容について 展示不参加

a. 分かりやすかったですか？

1. 分かりやすい 2. どちらかと言えば分かりやすい 3. どちらかと言えば分かりにくい 4. 分かりにくい

b. 面白かったですか？

1. 面白い 2. どちらかと言えば面白い 3. どちらかと言えばつまらない 4. つまらない

c. 特に印象に残った展示はありますか？（複数回答可）

- 「社会性と脳発達を細胞・分子レベルで明らかにする」狩野 方伸
- 「養育環境が脳に及ぼす影響」高橋 琢哉
- 「匂いが引き起こす脳活動と行動・情動」小早川 令子
- 「リアルタイムコミュニケーションにより同期する脳活動」定藤 規弘
- 「対人コミュニケーションの障害に対する新たな治療薬の開発」山末 英典
- 「食と現代環境がおよぼす脳への影響」矢田 俊彦
- 「慢性不眠症の過覚醒状態を生じる脳内基盤」三島 和夫
- 「発達障害に至る分子基盤の解明」松本 直通
- 「“自分は平均より優れている”と思う優越の錯覚の脳内メカニズム」須原 哲也
- 「線虫*C. elegans*の報酬依存的学習行動におけるモノアミン制御機構の解明」森 郁恵
- 「マウスを使って情動行動を評価する」永井 拓／貝淵 弘三
- 「今年度新規課題のご紹介～“BMI技術”と“霊長類モデル”～」
- 「日常生活の支援を目指すネットワーク型ブレイン・マシン・インターフェース」総務省

